

平成 27 年 8 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

8月の業種別景況のDI値は、13業種の内4業種が好転している。7月は悪化した業種は無く横ばいの状況で推移していたが、8月は4業種で悪化している。

DI値の好転している食料品、サービス業では「世界スカウトジャンボリー」等の効果で売上が伸びている模様であるが、同じ業種の中でも、依然厳しいとの報告もあり、全体では、まだまだ景気の回復感は無状態である。

山口県の主要指標 DI 値（平成 27 年 8 月末現在）

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（＜好転＞－＜悪化＞＝＜DI値＞）

前年同月比は、好転：11.3% 悪化：28.8% DI値：▲17.5% ポイント

売上高（＜増加＞－＜減少＞＝＜DI値＞）

前年同月比は、増加：20.0% 減少：28.8% DI値：▲8.8% ポイント

収益状況（＜好転＞－＜悪化＞＝＜DI値＞）

前年同月比は、好転：15.0% 悪化：27.5% DI値：▲12.5% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 27 年 8 月末現在）

				
30 以上	30 未満～ 10 以上	10 未満～ ▲10 以上	▲10 未満～ ▲30 以上	▲30 未満

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲28.6	▲50.0	▲33.3	▲100.0	▲16.6	22.2	50.0	▲15.2
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	全 非 製造業
0.0	▲55.6	▲50.0	0.0	▲10.0	▲14.3	▲19.2
						

全 体
▲17.5


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	<p>「世界スカウトジャンボリー」会場の売上は今一歩であったが、出店料が低額なので許容範囲である。駅等交通機関売店でお土産のお菓子が好調であった。お盆の期間の売上は、ショッピングセンターでは好調であったが、店頭販売は前年比で微減である。台風15号の被害は、売上の減少が一番の被害である。建物等の被害は無い。</p>	パン・菓子製造業
	<p>7月は対前年同月比+13%。8月は8/25時点で前年同月比+7%程度のアップと予測している。お盆期間は昨年同等の売上だったが、その前後の平日期間の売上が伸びた。世界遺産のうち2箇所（反射炉・造船所跡）は当館から徒歩圏内にあり集客に貢献している。国交省の全国モデル「道の駅」認定の効果で、行政視察の件数が大幅に伸びている。通年で150件は越えそうな勢い。萩市での宿泊を視察受け入れの条件としているので、地域への波及経済効果もある。台風15号の被害は無いが、開店休業の状態であった。</p>	水産食料品製造業 萩市
	<p>販売量の減少が引き続いており厳しい。業界によっては景気の回復の話も聞くが、小売りはマイナスしているのではないか。今年も原料が上がるが、価格転嫁は非常に難しい。県内産のういが採れない。ういが少ないのもあるが、漁業者の高齢化も一因にある。</p>	水産食料品製造業 下関市
	<p>8月は、盆明け以降また長雨となり、稲の病害虫の発生や野菜の生育状況が不良となっている。今年度におけるJAの米の概算金の発表があり、昨年度より1俵当たり1000円程度の値上がりとなっているが、昨今の米あまり基調の中で、米価下落に歯止めがかかるかどうかは、不透明な状況にある。今後もお米の価格動向について、注視していく必要がある。</p>	精穀・製粉業
繊維工業	<p>主力販売取引先の受注が増加し、7月売上は6月より約10%UP。予定通り8～9月の操業日数を6日間増やし増産体制をとっている。外国人技能実習生は10月に中国人5名帰国し、11月にベトナム人6名が来日の予定。ベトナム人通訳専門スタッフの雇用求人募っている。年々実習生のレベル（技術力、語学力）が低下しており、優秀な人材の確保が難しい。</p>	下着類製造業

	真冬の商品や春物の生産には少し早い端境期のため、受注量が少ない。台風15号接近の日は会社をお休みとした。	外衣・シャツ製造業
木材・木製品	新設住宅着工数は微増している。木材価格に変動はない。	製材業・木製品製造業 山口市
	変化はない。9月以降の秋の需要に期待したい。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	少子高齢化の進行と情報発信の多様化で国内需要が減少しており、印刷物の増加は見込めず、見通しは暗い。今までの消耗品製造の考えを早く改めて、社会貢献の観点から新たな需要を早く見つけるべきである。山口県印刷工業組合の青年部が「9月の印刷の月」事業として継続的に実施している山口県盲人福祉協会への点字カレンダー寄贈が(一社)日本印刷産業連合会の「2015年印刷文化典」において特別表彰されることに決定した。(特別表彰とは、全日本印刷工業組合連合会が上部団体の(一社)日本印刷産業連合会に対して、福祉活動を通じて社会に貢献し、以て印刷産業界の地位向上に寄与した者として推薦し認定された者に授与されるもの。)	印刷 下関市
	受注はあったが、売上げが9月のため収益は減小。	印刷 山口市
窯業・土石製品	全体的に出荷数量が減って、売上が減少している。若手の就職希望者が無く高齢化していたが、監督署の指導もあり若返りを図ったところ全社で30～40代の正社員の採用が出来た。台風15号では電線切断・停電、プレハブの倒壊があった。	砕石製造業
	出荷量は前月比106%、前年同月比105%。岩国地区の工事の本格化に伴う出荷量増により、県全体の出荷量が増加した。現時点、セメント・骨材等の資材調達に特に問題は生じていない。周南地区の生コン値上げはほぼ受け入れられたが、下関地区はまだ交渉を続けている。	生コンクリート製造業
	石材業界は、お盆で一区切りとなるため、お盆前は忙しい日々が続いた。お盆の墓参り時に気に掛かる部分があった等でメンテナンスの依頼が入る事を願っているが、自社で設置した物については無償修理をせざるをえない。台風15号では下関の組合員工場のガラスが割れた。	石工品製造業
一般機器	売上高は、減少、増加、また不変のところと様々である。在庫数量、収益状況も減少、不変、増加のところがある。販売価格は、増加が1社、他は全て不変である。メインユーザーの業況悪化により当面受注の減少となる予定の会社がある。一部で新工場を建設中で、年内稼働予定。	一般機械器具製造業 周南市

	<p>慢性的な人手不足が続いていた2社で高卒、30代、40代の3名の採用が決定した。設備機械を製造の組合員は、東南アジア関係の受注が動き始めた模様である。前月に引き続き概ね順調であるが、前年同月比では若干売上が落ちている事業所もある。台風15号では、屋根・外壁スレート、窓ガラス、シャッター、看板、道具小屋等が飛び、足場工事人件費も加味すると組合員総額で1,000万円程度の被害となった。</p>	一般機械器具製造業 防府市
	<p>前月に引き続き、機械検査関係、食品加工、スーパー等に加え農業、食肉加工業、溶接関係、惣菜業者からも人手不足から、外国人技能実習生受け入れの増員の相談があった。又、制度改正により介護の受け入れが可能になるとの情報から、銀行や介護施設からの問い合わせも増えている。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
	<p>金型設備の操業度は7月と同等で、9月からは稼働率も上がると予測している。9～10月の受注で下期操業度が予測できるので、まだまだ受注を延ばさないといけない状況。相変わらず価格面で非常に厳しい状況が続いている。成形製品の生産の一部で、設備稼働率が上昇しているが、全体的には、民生部品（家電部品、電子部品）の伸び悩みが影響し稼働率・売上とも前年同月より下がっている。</p>	特殊産業用機械製造業
輸送機器	<p>鉄道車両部門は緩やかな上昇の兆しで、今後数ヶ月は作業量に恵まれる見通し。コスト低減要請は厳しく、利益のアップは見込めない。精密加工部門の作業量は足踏みの状態で年末までは持ちそうであるが、今後の作業量確保は暗雲が立ち込めている。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>梅雨明けと同時に猛暑が続く飲料関連商品の売上が増加した。</p>	各種商品卸売業
	<p>倉庫利用率がここ数年で一番の90%となり、売上と在庫数がやや持ち直したように思う。しかし海苔の販売不振等で在庫数が増加したもので、まだまだ景気の回復感はない。</p>	乾物卸売業
	<p>魚が少ないのは温暖化や生産者の減少が大きな理由だが、夏場のこの時期は海水温の上昇により赤潮になりやすいため、特に魚が少なく、販売価格が上昇する。台風15号では市場は休業となった。</p>	生鮮・魚介卸売業
小売業	<p>努力が実り、前年よりも多少売上が増加している。台風15号の組合員被害は特になかった。</p>	化粧品小売業

	<p>組合員は小売業者が多いが売上は変わっていない中で、小売業（衣類・食品）が一番苦戦しており高齢化のため今後廃業が増えると考えられる。大手スーパーにはとても対抗出来ないので買い物弱者対策での移動販売や宅配などで活路求める時である。家電販売はリフォームの商談が多く善戦している。地区内の中小企業者は、人手不足から各業種で募集時の時間給が上昇している。特に建設・福祉・コンビニ・小売りなどが求人にも苦労している。団塊世代の元気な人に求人要請あり。福祉関連の一施設が9月初めにオープン。家族の外出志向が強くなって飲食店は業績が向上している。海水浴場の来場者が増え出店業者の売上がアップしていた。</p>	各種商品小売業 岩国市
	<p>台風15号では、暴雨、強風のため、ビル内部への大量の雨水が降込み、防災システムの誤作動が発生した。</p>	各種商品小売業 周南市
	<p>猛暑にもかかわらず、売上高が前年同月比で増加している。</p>	各種商品小売業 山口市
	<p>酒のディスカウント店の出店により売上、客数とも前年をかなり上回っているが、既存店では、前年を下回っている。</p>	各種商品小売業 長門市
商店街	<p>夏物バーゲン商戦、中元商戦は前年売上を上回れず、例年並みであった。プレミアム付商品券も売上増に貢献しているとは言えない。「世界スカウトジャンボリー」の参加者が来街したが、商店街としては対応が不十分であった。商店街の台風被害はアーケードの側面パネルが2枚破損したが、各店舗に被害は無かった。</p>	山口市
	<p>盆の時期、食料品店のみで多少売上が上がり、他店は売上が下がった。特に衣料品店は厳しかった模様。イベントは開催したが期待した程の購買力は引き出せなかった。イベント経費も削減するべきだという厳しい目の店主の声もある。衣料品店は秋以降の売上げに期待するしかないと話している。組合・組合員の台風15号による被害は無い。以前は組合ホール1Fに5cmぐらいの浸水等があったが、今回は横降りの大雨の割に浸水は無かった。</p>	萩市
サービス業	<p>暑い日が続き髪を切るお客様が増えたが、お盆を過ぎて急に朝晩涼しくなり減った。</p>	美容業
	<p>業界は依然として厳しい環境。前半は暑さで客足も伸びたがお盆後は客足も遠のいた。台風15号では店舗ドア、シャッターの破損の報告があった。</p>	理容業

	4月以降の軽自動車の新車販売が近年にない低調な状況となっている。その分車検台数が増加しているが、新車ディーラーも車検獲得に力を入れており、整備事業者にとって厳しい経営環境が続いている。	自動車整備業 山口市
	慢性的な人材不足に台風により钣金が増え忙しくしている。	自動車整備業 山口市
	人手が不足ぎみ。夏の水泳教室はここ何年かでは良い方であった。下関のスポーツクラブで台風15号の風圧でガラスが1枚割れた。	スポーツ・健康教授業
	宿泊人員及び売上高とも好調に推移、前年をクリアした。「世界スカウトジャンボリー」も一定の効果があつたが、一部のホテルに限定された。	旅館業 山口市
	宿泊の状況は、夏休みの観光客に加え「世界スカウトジャンボリー」で更に好転している。県からの「幕末ISHIN旅行券」の効果もあると考えられる。ただし、台風15号の施設被害は大なり小なり各施設毎にあり、修繕に対する補助を要望する施設もあつた。	旅館業 下関市
	売上は前年と変わっていない。一般管理費について水道光熱費等に減少が見られ、営業収益は若干好転した。資金面では厳しい状況は変わっていない。	旅館業 長門市
	夏休みの各観光地は、大河ドラマ“花燃ゆ”、SL、海水浴、西日本やきとり祭り等である程度盛り上がったが、個人消費は思うように伸びなかった。9月は、業界にとっては端境期ともいえるが、秋の大型連休に期待をしている。「ねんりんピックおいでませ！山口2015」も各地域がそれぞれで対応するため、地域で温度差がある。県の観光振興策に対応し、飲食業界も受入策を明確化する必要がある。その一つである県下統一飲食物の創作に苦勞している。組合設立50周年記念「大抽選会」事業は順調に6万枚の抽選券の配布を終了し、9月、10月で抽選券を回収、11月初旬には抽選会を行うことにしている。自力によるイベントの実施に弾みが付ければと思っている。	飲食業
	遅い梅雨明け後、毛布や布団類が多少出た。コインランドリー等で洗濯される消費者が増えている模様で、数年前より布団類の需要が減少している。高温の天気か続き、家庭で洗濯できる衣類で過ごす消費者が多いため、この時期はクリーニング業界全体、閑散期である。	普通洗濯業
建設業	山口支部の中電への工事申請は7月143件、前年同月180件。太陽光発電への申請23件、オール電化申請52件（前年は太陽光35件、オール電化58件）、LED街路灯への切替・新設申請は19件	電気工事業

	<p>(前年は26件)であった。台風15号では組合員に被害はなかったが、中国電力の要請を受けて各地の復旧工事を実施した。</p>	
	<p>複数の左官資材メーカー担当者の話によると今春より出荷量が1割強減少している模様。今年度の建設投資の工事予定量は25年度よりも約1割減少すると推測されており、発注は東京が中心となるので、地方は2割程度の減少となるのではないかと思われる。</p>	左官業
	<p>柳井地区は、上関の受注状況が少し良い程度で、公共・民間事業とも低迷している。企業は建設業であっても付加価値を高め、差別化を図らなければ、売上は上がらないと考える。</p>	土木工事業 柳井市
	<p>27年8月の受注高は、対前年同月比44%。今年度の累計は、対前年比24%。萩・田万川方面の激甚災害に対する工事は終了。一般の官公需工事を受注したいが、通常の年よりも発注数が少ない状況。台風15号により国道191号線に海から大岩が上がり通行止めの箇所が出たが、組合員に被害は無かった。</p>	土木工事業 萩市
	<p>順調に発注がなされており、売上、収益は上がっている。人材不足は続いているが、今現在の人員でなんとかこなしている。</p>	管工事業
運輸業	<p>8月の稼働日数は少なかったが売上は7月とほぼ同額であった。前年同月比ではプラスマイナスゼロである。輸出はやや減少しており、内需は横ばいである。今年の夏の異常な暑さから例年より飲料容器材の輸送が多いが、スチール製は容器材の多様化から輸送量が減少している。燃料費は3円の値下げとなり、幾分助かっているが、中小零細運送業者の経営は厳しい。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>前月に続き8月の稼働は前年同月比10%程度の増加となった。燃料費も比較的安くなっているが、運転手不足は解消されず、高齢化が進んでいる。台風15号では保管庫のトイレガラス窓の破損、雨漏り等があった。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>8月はお盆休みもあり全体として売上が少ない。しかしながらこの度山口県で開催された「世界スカウトジャンボリー」の影響で、県内の様々な業者に特需があった模様で、組合員においても、倉庫案件でジャンボリー関係の物品保管の業務を受注した。燃料価格については、このところ値下がり傾向が続いている。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市

<p>燃料費が下がり気味であるのに、取引先等の休みが多く仕事が少ない。大手運送会社よりも低い運賃の上に、稼働日が少ないので思うように収益が上がらない。E T C事業は順調に推移している。安全運行無事故運行を志し、組合員一同頑張っている。台風15号で、配送センターの雨漏りとシャッターが壊れ、現在、保険会社の査定待ちである。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 下関市</p>
<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比▲5.1%（平成27年7月1日～平成27年8月20日分）。7月1日～30日分は▲3.4%、8月1日～20日分は▲8.3%。7月前半は増加傾向だったが中旬から減少の日が続いている。中国を発端に株価が急落したもようだが、基本的に経済が回復状態でない事を表していると思う。当組合の取扱いは、光市、下松市、周南市、防府市の地域だが、7月分は、防府市地区が▲15%、周南+0.1%、下松+3%、光▲13%で防府、光地区が減少している。主要燃料のL P Gは、C P（通告価格）と為替に連動して変動するが、為替は円安だが、ブタン、プロパンのC Pは前月分よりもさらに下がり（前年820\$/トンが今年413\$/トン）購入単価は先月よりも安くなっている。前年度が高騰していたため、前年8月分に比べ23%安価になる。車両代や整備費用が上昇しているなか、燃料費が下がるのは大いに助かっている。7月中旬から売上高の減少が続いており、平成24年6月のような大幅減少の再来が大いに懸念される。売上の減少に比例して乗務員の収入も減少していることもあり、乗務員確保がたいへん難しい状況が続いており、稼働台数も減少している。中国経済の低迷など、大手輸出産業にも陰りが見え始め、国内の個人消費は改善されないまま再びデフレスパイラルの状況に陥る事が懸念される。年金の実質減額や消費税増税など、低所得者の負担が多くなる事ばかりで、個人消費はますます減少し、地方の経済は、ますます厳しい状況になるように思われる。</p>	<p>一般旅客自動車運送業</p>
<p>相変わらず、荷役取扱量の伸びは感じられない。</p>	<p>港湾運送業</p>